

教えて！働く現場

今回の事業で、風力発電機の販売から建設、メンテナンスまでを行うのがベスト・ジャパン（本社・東京都）です。メインサービスオフィスの夏木岳明所長に今後の作業についてお話を聞きました。また、本市出身でテクニシャン（技術者）として働く田中宏和さんと飯坂仁さんが1日の作業の流れを教えてくださいました。



ベスト・ジャパンの右から夏木所長、田中さん、飯坂さん

夏木さんに今後の作業について聞いたぞ



能代港のベスト・ジャパンオフィスでは11人が働いています。メンテナンス作業を行うテクニシャンのメンバーは昨年の9月以降、イギリスやベルギー、オランダで2カ月ほどの研修に参加しました。試運転と法定検査が完了した風車からメンテナンスを行います。7月19日からトレーニングも兼ねてテクニシャンが風車の中で作業を始めています。本格的な作業開始は年末を予定しています。

日本初の商業運転を成功させる使命と、ここで働く人の安全を守る責任を感じています。今後地元の方が働けるよう環境を整えていく予定です。女性の雇用も増やしたいですね。「能代が好き」「地域の電力を守りたい」。そんな強い思いがある人が興味を持ってくれるとうれしいですね。

1日の主な作業の流れ ①

午前7時過ぎにミーティング。終わり次第、作業に必要な道具をアクセス船「レッドスター」に積み込み、オフィス横の船着場から7時30分頃出港。約30分でタワーに到着。



アクセス船「レッドスター」

飯坂 作業船の船首をトランジションピース（TP）と呼ばれる黄色の部分に押し付けた状態でTPに移動。約30mのはしごを使ってタワーへ上ります。

田中 作業を行うのがナセル。タワー内にある2・3人乗りの小さなエレベーターで移動し、タービンを回すブレーキパットのクリーニングやグリス（油）の追加などを行います。

正午頃昼食

飯坂 各自が持参した弁当などを食べます。タワーの下の部分で食べるととても開放感があります。

午後1時頃作業再開

飯坂 1日の作業は12時間。いろいろチェックするので1基に1日かかることもあります。3カ月に一度の点検では、チェックする項目が100以上もあります。

田中 ほかの会社と少し違うところが、働くシフト。1週間の勤務後、翌週1週間が休みになります。大変そうかもしれませんが「明日から休みだ!」と思うと疲れが一気に吹き飛びます。自分の趣味に使ったり、旅行に行ったりできると思います。

午後6頃帰港。アクセス船から荷物を降ろしたら勤務終了



作業で使用する道具を準備



約80段の階段を上って上部へ

広報のしろ

2022.8.10 第376号

目次 — CONTENTS —

- 6 結婚支援
- 7 奨学金奨学生募集開始
きみまちの里フェスティバル
ボランティアスタッフ・協賛企業募集
- 8 フレイル予防
- 10 がん検診
脳ドック・すい臓等がんドック助成
- 11 新型コロナワクチン4回目接種
- 12 話題ピックアップ
- 14 指定管理者募集
企業版ふるさと納税

広報クイズ

Q1 能代港に設置される洋上風力発電の風車の数は？

1. 13基
2. 20基
3. 33基

Q2 フレイル予防の3つの柱は「栄養」と「運動」と何？

1. 社会参加
2. メタボ予防
3. 脳トレ

すべて正解した人の中から抽選で3人に、木工品をプレゼントします。

応募方法

電子申請やはがき、Eメール、ファクスでクイズの答え・郵便番号・住所・氏名（ふりがな）・年齢・性別・電話番号を記入し、広報のしろに対してひと言添えてご応募ください。

あて先 〒016-8501 能代市上町1-3 地域情報課
ファクス 89-1793
Eメール kouhou@city.noshiro.lg.jp

締め切り 8月25日（木）（当日消印有効）

※当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。



電子申請はこちら

この仕事に興味を持った人もいないんじゃないか？どんな人が向いているかアドバイスをもらったぞ！



みんなと協力して何かを成し遂げられる人

作業は3人または4人1組で行います。1人で作業することはないので、仲間と協力して何かを成し遂げられる人が向いていると思います。

新しいことにチャレンジしたい人

仕事の内容もシフトも他の仕事と少し違っていて新鮮さを感じられるかも。

英語でコミュニケーションが取れる人

建設作業員は外国の人が多く、やりとりは英語。英語の勉強に関心を持って頑張りましょう。

体力がある人

はしごを上ったり道具を持って移動したり、体を動かす仕事。腕力は重要ではないけれど体力があった方がいい。

洋上風力NEWS!!



7月20日、風車の据え付けを行うSEP船「ザラタン号」の乗組員へ白神ねぎが贈られました。さっそく食堂では、揚げ物や煮物、スープ、キムチなどにして振る舞われたそうです。



7月22日、洋上風力発電の導入が進むイギリスのジュリア・ロングボトム駐日大使が風車視察のため能代を訪れました。大使は「能代が他の地に先駆けて事業を行っている」と聞いて来た。すばらしいプロジェクト。日本のモデルになってほしい」と齊藤市長に伝えました。